

インタビュー



シリーズ第5弾

町制施行 100周年記念特集

宇美町の歴史を見つめてこられた方々に
スポットを当てることにしました。

創業71年マルト醤油の おばあちゃん 藤 絹代さん(満100歳)



新元号「令和」が発表された4月1日が100歳の誕生日だった藤 絹代さん。大正・昭和・平成そして令和と四つの時代を、宇美町の100年の歴史とともに元気に明るく歩んでこられました。

これまで大きな病気にならず、ずっと元気でお過ごしになっています。元気の秘訣は、ご飯をしっかり食えること。そしてしっかり歩くことで内臓の強さに繋がっているそうです。また、「子どもにも迷惑を掛けたくない」という自立心が100歳まで自分を支えてきたんだろうと語られました。

宇美町が炭鉱で栄えていた頃は、宇美駅前の上宇美商店街がとても賑わっていて、同じ名前の女優田中絹代さんの映画を観るのが楽しみで、永楽館という映画館にも良く通い、また、子安座で演劇を見るのも楽しみの一つだったそうです。

今は、週3回のデイケアに行き、全身運動や頭を使うレクリエーションを楽しみにしておられます。

マルト醤油のおばあちゃん藤絹代さんは、大正8年生まれ、4月1日で満100歳のお誕生日を迎えられました。

マルト醤油は、昭和21年に志免町の亀山にある富士正醤油からのれん分けして、宇美駅前創業されました。絹代さんは創業以来72年間ずっと元気で明るくマルト醤油を支えてこられました。

Ⓣのロゴは、藤(トウ)のトを縁起が良い〇で囲んだもので、今も受け継がれています。



マルト醤油創業当初の写真で、中央の女性が絹代さん。一番小さな女の子が現おかみさんの山元路子さんです。昔の醤油屋は仕込みからビンを洗うのも全てが手仕事で、大変な重労働でした。

絹代さんは、お店の仕事から住み込みで働く従業員の方々のお世話まで、年中休みなしでマルト醤油を支えてこられました。

100歳のお誕生日にお孫さんたちからプレゼントされた似顔絵は、上宇美商店街の「木のおもちゃ屋さん・ほしとタンポポ」の店主、野中勇一さんに書いていただきました。

いつも元気で笑顔が絶えない絹代さんと一緒に、二度目の東京オリンピックを観ることを、みんな楽しみにしています。



議会からのお知らせ

議会を傍聴しませんか！

3月議会では、25名の方が傍聴に来られました。

議会は年4回(3月・6月・9月・12月)に定例議会が開かれます。役場3階の傍聴席入口で住所・氏名を記入し、ご入場ください。

次回の定例議会は、6月10日に開会予定です。

※ 詳しくは宇美町議会事務局 (TEL092-934-2248) までお問い合わせください。

議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしております。

議会事務局のメールアドレスです。gikai@town.umi.lg.jp

【発行責任者】

議長 古賀 ひろ子

【議会広報常任委員会】

委員長	丸山 康夫
副委員長	平野 龍彦
委員	入江 政行
委員	安川 繁典
委員	南里 正秀
委員	時任 裕史

Gikaiboutyou Meter

議会傍聴メーター

2018年3月議会から
議会傍聴に来られた
人数です。

229